

2013 年度「連携推進委員会」の振り返り

連携推進委員会 NGO 側委員一同

＜2013 年度の連携推進委員会活動全体の振り返り＞

2013 年度も、慣例となった政務三役のご出席をいただきながら、本委員会会議では情報共有と議論が行われ、結果、一定の成果が得られた 1 年であった。

とくに「NGO と ODA の連携に関する中期計画」（以下、「連携中期計画」と表記する）については、外務省・NGO 双方からメンバーを出す形でタスクフォースを組織し、例年よりも幅広いスコープと長いスパンをもって NGO・ODA 連携の現状と展望、具体的な改善策を議論することができた。

また、本委員会からスピンオフする形で設けられた「ポスト2015に関する外務省・NGO意見交換会」においても、グローバルな開発目標のあり方、日本のODAやNGOが目指すべきものなどについて活発な議論を行い、相互の主張に磨きをかけてきた。2014年3月以降は、「ポスト2015NGOプラットフォーム」を発足させ、さらに機動性と専門性をもたせながら、議論を深めている。

＜2014 年度以降に取り組むべき課題＞

一方、以下に関しては、時間的・時期的な制約があり、十分な議論・取組が出来なかったので、今年度に検討・対応を行っていきたい。

【連携中期計画にかかる公開の場での審議】

連携中期計画については、上述のように、タスクフォースを軸に検討を重ねてきたが、一応の検討が終わった箇所については、より広い範囲の関係者が参加し、かつ議事録が残る公開の場で議論していくことが必要である。そのため、今年度は、随時、本委員会の審議事項にあげ、議論を行っていきたい。

【草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）にかかるレビューフォローアップ】

GGP に関しては、今年度も 4 年目の GGP カントリーレビューを継続しつつ、昨年度から話題となっていたスキームレビューについても、ぜひ今年度に外務省と NGO とで協働して実施していきたい。

以上